

Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木西丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
http://clanago.com

プレイガイド
アイ・チケット
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区東区2-11-22 アバンテッジビル305
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com

おかげさまで「ナゴヤ劇場ジャーナル」は創刊10周年を迎えました。2009年1月の創刊号から、欠けることなく順調に与を重ねて参りました。お力添えいただいた皆さまに熱くお礼申し上げます。

「ナゴヤ劇場ジャーナル」おかげさまで10周年

地域(名古屋地区)とジャンル(舞踊、音楽、演劇)を限定、「公演案内」ではなく「劇評」に重きを置いて舞台専門紙として、多くの舞台人、舞台愛好家に認知していただけたのではと自負しています。



「エルム」で歌う神谷敏男

10年という通過点を経て、今後も読みごたえのある紙面をお届けする所存です。皆さまには一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

発行人 (株)マネージメント・プロ社長 吉見眞悟/編集長 上野 茂



佐々部佳代/清水健太/越智友則 異色のキャスティング実現

BALLET NEXT「ドン・キホーテ」
1月6日 刈谷市総合文化センターで

オーディションシステムで選出された優れたダンサーと、芸術監督・市川透(元新国立劇場バレエ団ソリスト)とのコラボレーションで実現する傑作グランドバレエ。BALLET NEXTの2019年本公演が1月6日(午後4時)刈谷市総合文化センター大ホールで開催される。

今回の演出はミンクス。主演のキトリを演じるのは、熊川哲也が主宰するKバレエの元ソリスト佐々部佳代。相手役のバジルはロサンゼルスバレエのゲストプリンスバールで、Kバレエでも活躍した清水健太。タイトルロールは大寺資二、その従者サンチョを演じるのは、越智友則。そのほか前沢愛(メルセデス)、碓氷悠太(エスパード)ら実力派キャストが揃う。

「狂う〜SCANDAL」北文化小劇場で1月19日

愛に狂う女性をテーマに、普遍的な愛憎の世界を東海地区で活躍する邦楽の達人たちが描出し。本花道や昇席のある

ストが居並ぶ。市川は「佐々部佳代と(越智友則は)これまでに見たことのない、魅力的なキトリとサンチョを見せてくれるでしょう」と名演を確信。「刈谷の大ホールは、どの角度からも見やすい優れたホール。出演者には、全身全霊を込めたアグレッシブな演技を要求しています」。

「狂う〜SCANDAL」北文化小劇場では新春1月19日(午前11時、午後3時)同劇場で「狂う〜SCANDAL」を開く。

舞台という「狂い/狂乱」とは、登場人物が怒りや哀しみに耐え切れず正気を失い、とんでもない行為に及ぶこと。オペラでは「ランメルモールのルチア」の狂乱の場があまりに有名だが、邦楽世界でも「狂乱もの」は人気がある。

能の「班女」「隅田川」、歌舞伎舞踊(日本舞踊)の「お夏狂乱」「賤機帯」―。いずれも女性を主人公にしたものだが、「保名」「腕久」など、男性の狂いを描いた作品も少なくない。

「独自の音楽世界」追い求める熟年シンガー

119 神谷 敏男

身。その後シンソン、カンツォーネ歌手として活動する神谷敏男。8年前から大須にヴォーカルスタジオ「カンタ・フェリーチェ」を開業し、さまざまなジャンルの歌唱指導を行っている。

神谷には団塊(だんかい)世代の男性ならではの風格と押し出しがある。ピアノの弾き語り、ユーモアにあふれる曲間のMCが彼のスタイルだ。

久々の登場となった「エルム」では10月1日に亡くなったシャルル・アズナブールが愛唱した「返り来ぬ青春」パリの空の下、ほかに巧みなピアノの弾き語りや披露。詰め掛けた聴衆をうならせた。ちなみにこの日はソールドアウト。何人も

「クラシック歌手にもポップシンガーにも歌えない、独自の音楽世界を確立することが私の永遠のテーマ」と背筋を伸ばす神谷である。

「カンタ・フェリーチェ」への問い合わせはTEL052(222)75665。

演奏会・発表会・ステージ等カラードレス・アクセサリ専門店
Enclair
新作続々入荷中 12/29-1/3 期間中は休日
東山線・上社駅前すぐ/駐車場完備 OPEN 11:00-19:00 CLOSE 月曜日定休
ドレスショップ/アングレール 名古屋市中東区上社1-506-1F TEL:052-739-6155

「狂う〜SCANDAL」北文化小劇場で1月19日

北文化小劇場では新春1月19日(午前11時、午後3時)同劇場で「狂う〜SCANDAL」を開く。

舞台という「狂い/狂乱」とは、登場人物が怒りや哀しみに耐え切れず正気を失い、とんでもない行為に及ぶこと。オペラでは「ランメルモールのルチア」の狂乱の場があまりに有名だが、邦楽世界でも「狂乱もの」は人気がある。

能の「班女」「隅田川」、歌舞伎舞踊(日本舞踊)の「お夏狂乱」「賤機帯」―。いずれも女性を主人公にしたものだが、「保名」「腕久」など、男性の狂いを描いた作品も少なくない。

今回「狂う」を演じるのは、寧ろ宮城社大前範で名古屋音大講師の岡崎美奈江、名古屋市民芸術祭特別賞を2度受賞している長唄の杵屋六春、若手舞踊家による「桜美の会」をけん引する五條美佳園、雅楽集団「主韻会」を主催する柴垣治樹の4人(組)。それぞれがどのような作品を、どのような演出で見せ、聴かせ

瀬間千恵
銀巴里伝説の歌声
4オクターブの歌声
2018年12月1日(土)
カフェ・コンセル・エルム
開演/19:30 入場料/¥6,000

平和希求ライブ
ゲスト:大石直美
ハリ・トリアノン劇場出演
2018年12月8日(土)
カフェ・コンセル・エルム
開演/19:30 入場料/¥5,000

CAMIYU & 真彩
舞台「ノートルダム・ド・パリ」
唯一の日本人出演
2018年12月20日(木)
カフェ・コンセル・エルム
開演/19:30 入場料/¥5,500

●ご予約・お問合せ● カフェ・コンセル・エルム
mail / mail@chanson-japonaise.com TEL 052-733-0085
エルム シャンソン

わたなべこうじマンガ劇場



4時30分)芸術創造センターで行う「忠臣蔵」その命「桜のごとし」(台本・演出・渚本晴都子、作曲・森彩音)だ。「忠臣蔵」といえば、毎年年末さまざまな形態、演出で上演、放映される人気作だが、今公演で描かれるのは「桜花のように華やかで潔い男たちと、彼らを支え、平穩を願う女たちの本音のドラマ」だと渚本は語る。

出演はほかに久保田道子、鳴海草、灰塚弘、津守礼央、木村一輝、早川けい、小澤寛ら。指揮・濱津清仁、ピアノ久野明子、エレクトーン前田絢葉、チェロ水谷幸絵。全指定席5000円。TEL052(733)8809。

◆推奨公演◆

◇「Spring concerto and Hensel & Gretel」◇

1月12日(午前11時30分、午後3時)長久手市文化の家・音楽室。長友野慈呼(ヴァイオリン)、太田さき(ピアノ)、みやちともこ(歌と朗読)による音楽劇。全自由席、こども500円、おとな1800円、おやこペア1500円(3歳以下無料)。TEL090(9180)6890。

演奏家ソサエティー活劇オペラ
新趣向「忠臣蔵」
12月22-23日 芸創センター

山口雅子、出田光代、加川文子、澤脇達晴、井原義則、安田健一、東海



澤脇 達晴



山口 雅子



井原 義則



出田 光代



安田 健



加川 文子

は大石内蔵助・りく夫妻、浅野内匠頭・阿久利夫妻らが、森彩音の美しい旋律を朗々と歌い上げる。大詰め六重唱は一聴の価値がありそう。

DanSkate
ダンスケイト

パレエショップ <http://danskate.com>
TEL 052-265-7900

出演はほかに久保田道子、鳴海草、灰塚弘、津守礼央、木村一輝、早川けい、小澤寛ら。指揮・濱津清仁、ピアノ久野明子、エレクトーン前田絢葉、チェロ水谷幸絵。全指定席5000円。TEL052(733)8809。

人間味あふれる天才的作曲家の素顔



アストル・ピアソラ

「ピアソラ」永遠のリベルタンゴ

タンゴであり、クラシックであり、ジャズでもある。「リベルタンゴ」ピアソラ「永遠のリベルタンゴ」の四

ンゴ(ダニエル・ローゼンフェルド監督)が制作され、12月15日から名演小劇場で公開される。この作品は、昨年アルゼンチンで開催されたピアソラの回顧展にちなんで制作されたもので、ミュージシャンでもあった息子・ダニエルの回想でつづられている。残されているピアソラの映像は少なく、今作で使用されているのは彼の家族が撮影した8ミリフィルムと白黒写真、そして彼の晩年、アルゼンチンのコロナ劇場で撮影されたオーケストラとのステージのみ。しかし余分な脚色が成されていない分、われわれは真のピアソラに触れることができるのである。早くからピアソラの音楽的才能を見抜いていたのは父親だったこと、ニューヨークで過ごした少年時代はギャングになるつもりでいたこと、釣り大好きだったこと、家族を愛したこと。人間味あふれるピアソラに出会い、私はほのぼのとした気分になった。入場料1800円(前売り1500円)。TEL052(931)1701、名演小劇場。

さらに楽しむことが出来るだろう。今回の「黒塚」は名古屋文化振興事業団が主催する「名古屋音楽堂」

やそすけの芸人魂を継承し

「おとたまことだま」



て知られる「黒塚」。自身が仕える主(あるじ)のために、四つ子も実の娘と孫の命を奪ってしまった老婆の苦悩と解脱を描いた怪奇ドラマ。平松は口舌も鮮やかに登場人物を巧みに語り分け、老婆の病んだ魂を天上に送り届けた。平松は世界の民族楽器とのコラボレーションを積極的に行うなど、独自の芸道を模索している。彼女のプロフィールによれば、邦楽のスペシャリスト六柳庵やそ(旧名・三味線やそすけ。2015年逝去)の弟子でもあった「やそさん」の芸人魂を、平松は受け継ごうとしている。その心意気を高く評価したい。

せりふや地謡の意味が分かれれば...



喜多流の能「黒塚」

能楽「黒塚」

劇場ジャーナル121号にして初めて、能の記事を書かせていただく。比較的短時間(90分)で、ケレン味も豊かで分かりやすいと言われる「黒塚」である。歌舞伎舞踊では大作とされ、最近では四代目市川猿之助が、襲名披露の演目として上演している。

舞台批評

舞台はみちのく(現福

習や、イヤホンガイドが必須。日舞や歌舞伎と同様に、いくつかの約束事が分かるようになれば、

観劇には、事前の予習や、イヤホンガイドが必須。日舞や歌舞伎と同様に、いくつかの約束事が分かるようになれば、

名古屋出身で東京藝大、同大学院を経てベルリンに留学。2015年からセントラル愛知の指揮者を務めており、実績が認められて常任に昇格。「出身地で願ってもない仕事で、とても光栄。クラシック音楽の敷居を低くし、間口を広げたい」と意欲を語る。

Parlora Nijinsky Memorial Ochi International Ballet
beyond 2020

クリスマスグランドバレエ 31シーズン

くるみ割り人形 スペシャル
【全幕】
チャイコフスキー曲

2018年 12月24日(月・振休) 14:00開演
日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

芸術監督/越智久美子

X'mas特別料金(全指席定)

A席 ¥4,000
B席 ¥3,000

チケットお問い合わせ
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 490-177)
<https://t.pia.jp/chubu/>
お近くのチケットぴあのお店、セブン・イレブン各店舗でもお求めいただけます。

ローソンチケット 0570-084-004 (Lコード: 42510)
<http://l-tike.com/>
ローソン、ミニストップ店頭「Loppi」にてお求めいただけます。

【プレイガイド】
愛知芸術文化センター / 栄プラチナ92 / 名古屋文化振興事業団チケットガイド(ナディアパーク8F)

パプロフ・ニジンスキー記念
TEL 052-481-4488
〒453-0018 名古屋市中村区佐古前町16-41
<http://www.ochiballet.com/>

創立69年 越智国際バレエ

舞台はみちのく(現福

習や、イヤホンガイドが必須。日舞や歌舞伎と同様に、いくつかの約束事が分かるようになれば、

観劇には、事前の予習や、イヤホンガイドが必須。日舞や歌舞伎と同様に、いくつかの約束事が分かるようになれば、

観劇には、事前の予習や、イヤホンガイドが必須。日舞や歌舞伎と同様に、いくつかの約束事が分かるようになれば、

オペラ・フランスへの旅

名古屋とフランス市（フランス）の姉妹都市提携を記念するオペラ「ランスへの旅」(芸術創造センター、10月27日・28日)を見た。

フランス国王の戴冠式を巡って18人の登場人物が右往左往するドタバタ喜劇で、ロッシーニの没後150年にして名古屋では初めての上演。

市文化振興事業団、稲葉地オペラ振興会、エウロ・リリカが主催し、酒井和音・石原まりあ、中井亮一、宮崎智水ら当地の実力派歌手が集結した。ソリスト全員に見せ場がある名場面だらけの作品をまとめるために、田尾下哲・青木真緒を演出

舞台批評

若手育む余裕のキャスティング



「フェアリー・ドール」(撮影・杉原一馬)

岡田純奈バレエ団

岡田純奈バレエ団が、秋の公演(10月27日・市民会館ビレッジホール)で、2作の珍しい作品を上演した。

前半の「フェアリー・ドール」は、おもちゃ売り場の人形たちが、真夜中に踊り出すという夢物語。さまざまな種類の人

に迎え、歌唱・演技指導を岡本茂明が担当。指揮を柴田祥、演奏をフィルハーモニー・ウィーン・名古屋という万全の体制で作り上げた。

ゴージャスな歌声と演奏はもちろん、イタリア生まれのロッシーニの紡いだ騒々しくも愛らしいフランスの物語の面白さ、楽曲の素晴らしさを、しっ

優れた楽曲、歌唱、演出に大満足



名古屋で初演された「ランスへの旅」

名作ミュージカルの追い風を受け



「エーデルワイス」(撮影・杉原一馬)

かりと居てみせた田尾下らの手腕が冴えた。歌手陣は、単に技術を見せつけるのではなく、物語に乗って楽しげにポテンシャルを開放。14重

佐々智恵子バレエ団

佐々智恵子バレエ団の創立70周年記念公演「エーデルワイス」(10月

唱の心地よさは圧巻だった。オペラ好きの観客の高い期待値を軽々と越え、クラシックファンの先まで届く舞台だった。

として過去にも上演された作品だが、神戸珠利団長の新たな演出、振付作品として感想を述べた。

まず驚いたのは宗川論理天指揮による愛知室内オーケストラの音の良さ。9人編成とは思えぬ厚みがあり、個々のテクニクも冴えた。彼らのサウンドに乗せ、ダンサーたちも気持ち良く弾けた。

主役を演じた林久乃はまさに適役。マリアの喜びと悲しみを実にナチュラルに表出した。修道院長長役の倉知外子(客演)は、聖職者の長にふさわしい落ち着いた佇まいを見せた。

せりふのないバレエはその表情や動作が言葉や歌になる。マリアを慕う7人の子供たち、マリア

い。タイトルロールを踊ったのは西川花帆で、相手役は越智友則(客演)。もう一組は「フェアリー・ドール」でも主役を踊った芳賀公美花とアンドレイ・クードリヤ(客演)。山本佳奈、石黒優美らの主力を群舞に置く、人材

豊富なバレエ団ならではの余裕のキャスティング。若い団員たちのための公演でもあった。

(Sillage)

ダンスの魅力、芸術性を結集し



名鶴ひとみ&JUN

「Nous 18th」(全3話)では構成演出に加えて堂々第2部の主役を張り、激しくアクティブなダンスを披露して観客を驚かせた。

名鶴ダンスカンパニー

いや驚いた。人は訓練と節制で、ここまで体力を維持することができないのだ。名鶴ダンスカンパニーの主宰者、名鶴ひとみである。今回の

第1話では群舞のスピードに圧倒された。しかもセンターだけでなく、右、左、後方でもドラマチックなセクションが繰り広げられている。芸術性も高い、一級のコンテンポラリー作品である。

娯楽性排した特異な演出に唖然



「シティⅢ」(撮影・羽鳥直志)

「シティⅢ」(撮影・羽鳥直志)は、舞踊家・振子ぴんじんの演出で上演され、私はその特異性にアッ然とした。設定は文明が荒廃した「はるか未来」。出演は5人だが、途中、作者や大道具のスタッフも出て来て舞台は渾沌(こんとん)と化する。せりふは時間の経過とともに音として発せられるだけで、会話として成立しているわけではない。「悲観的な未来」を描いた作品は多い。AAF戯曲賞の受賞作は前作も前々作もそうだったし、

AAF「シティⅢ」

戯曲とは何か、演劇とは何か。娯楽性はずの演劇が、その娯楽性を排除して、新たな方向性を模索している。昨年度のAAF戯曲賞受賞作「シティⅢ」(作・カゲヤ

「悲観的な未来」を描いた作品は多い。AAF戯曲賞の受賞作は前作も前々作もそうだったし、

「悲観的な未来」を描いた作品は多い。AAF戯曲賞の受賞作は前作も前々作もそうだったし、

間奏曲

演出の振子は「戯曲とは、問い」であり、それに関わる人たちが、その答えを導き出そうと考え、動くことが上演につながる」と述べている。しかし今回の「シティⅢ」が、戯曲の問いに、的確に答えられたとは思えない。

3月に愛知県芸術劇場主催公演として行われた「寿歌」(作・北村想)もそうだった。本作は「寿歌」にとても似ている。だが登場人物たちの人間性が感じられないから、感情移入ができない。心には残らない。

明智光秀の真実——
乱世に輝く心と情の愛

南光坊天海 橋爪淳 明智光秀 吉田知明 堀越・濃姫 加藤恵利子

織田信長 田中良和 斎藤道三 滝沢博 足利義昭 栗原峻希

Menicon presents

戦国オペラ 西川右近 本能寺が燃える

2019年 2月16日(土) 15:00開演 (14:30開場) 17日(日) 15:00開演 (14:30開場)

名古屋能楽堂 全席指定 S席 6,000円 / A席 4,000円

※未就学のお子様はご遠慮ください。

メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント・クリエイション部

Tel.052-935-1630 受付時間 平日10:00~18:00

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 青山 皆川 越智久美子 つつみあつき
秋田 巳喜子 小野由加利 手塚 淑子
阿久津 紀子 加藤 静子 戸田 美江子
浅井 亮子 金澤 志保 中川 幸作
荒川 洋子 蟹江 尾八 仲条 優理
出田 光代 黒沢 優子 夏目 久子
伊藤 敬 小池 真琴 名鶴ひとみ
伊藤 直樹 工藤寿々子 西川 長秀
稲垣 舞比 神原菜生 野々山 保治
井上 初子 佐藤 典子 野村 祐子
斎 千龍 佐藤美智子 服部 節子
植村 麻衣子 澤脇 達晴 服部 節子
内田 寿千代 島田 倫子 花柳 磐優
内田 寿典 清水 房子 林 雅仁
内田 寿晴 白樺 八重 瀬本 晴都子
内田 寿哉 瑞鳳 澄依 松本 道子
内田 寿美 鈴木 久美子 見波 紀子
内田 寿美 鈴木 文雄 宮西 圭子
大寺 資二 高橋 肇 山口 雅子
岡田 一男 武市 孝三 よしみゆこ
岡田 純奈 竹元まき子 渡部 千枝
岡崎 保彦 田淵友佳理 ほか
小倉ひろこ 玉田 弘子

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポーター会員を募集しています。会費は年間6480円(税込)です。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載(希望者のみ)。

お申し込み、お問い合わせは(株)マネージメント・プロパティ(052-5085095) 郵便振替口座008801612061300。

左手のピアニスト、誕生の秘話

ビリーで驚異的に回復し、左手のピアニストとして復活を果たした。「2年間のブラコンクがあったから、左手だけで演奏する気持ちになれた」と言う。東京藝大に1浪して入ったことも「あの1年がなければ今の自分はなかった。とても大事な経験だった」。

何事も前向きに捉える性格が困難な再起を可能にした。ファンからの寄付で作曲を依頼した左手のための作品が100曲もなった。「左手だけにあって新しい世界が開けた。もう演奏に右手はいらない」ときっぱり。成功の秘訣は「ゆっくり丁寧に。腹を立てない」。

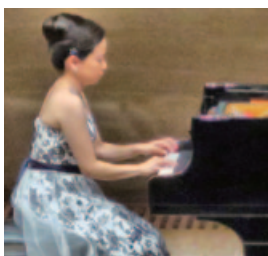
講座の内容は1月13日夜、NHKラジオ第2で放送。(上原宏)

圧巻だったドビュッシー「花火」

ピアノ・鈴木真貴子

鈴木真貴子のピアノ・リサイタル(11月10日・電気文化会館)を聴いて、ドビュッシーの魅力を再認識した。

フランクの演奏で東京藝大の博士号を取得したスペシャリスト。今回は彼が敬愛したドビュッシーの作品を並べた。



冒頭の「月の光」から、ドビュッシーの音楽に聴衆を誘った。続く「版画」の3曲で音の響き、情景描写などドビュッシー独特の



「喜びの島」のように音が鳴り響く曲でも、鮮やかなタッチでクリアに聴かせる。後半の「前奏曲集・第2巻」は、さまざまなタイトルの変化に富んだ12曲を、緊張感が切

企画、構成力でランクアップ

メゾソ프라 相可佐代子

相可佐代子メゾソ프라・リサイタル(10月19

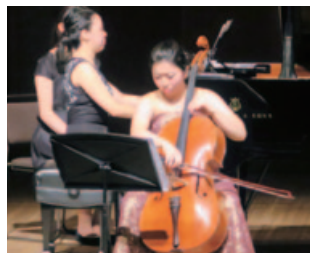
曲ごとに異なる特徴を巧みに表現

チェロ下島万乃

名古屋演奏家育成塾で市文化振興事業団賞を受賞したチェロの下島万乃(まの)が、記念リサイタル(10月28日・熱田文化小劇場)を開いた。

まだ東京藝大3年だが、すでに頭角を現している。私も何度か聴いて、毎回安定した演奏に感心している。

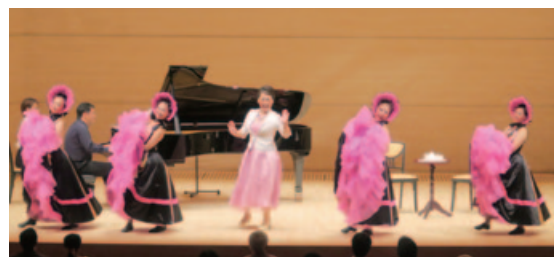
初の本格的なリサイタルだが、ベートーヴェン「チェロソナタ第3番」、ヒンデミット「無伴奏ソナタ」、後半にドビュッシーとフランク



の「チェロソナタ」というベテラン並みのプログラムで臨んだ。

タイプは異なる4曲を、それぞれ特徴をよくつかんだ表現で聴かせた。ベートーヴェンほどは、印象派のドビュッシー、現代的なヒンデミットを弾きき分けの能力は、認めないわけにはいかない。

そして今後の課題を探すなら、聴く人を楽しませることを少しずつ学んでいってほしい。



日・電気文化会館は、チラシから楽しそうな感じだったが、看板に偽りはなかった。

得意のフランスもので、前半は「ラ・フォンテーヌ寓話から「カラスとキツネ」「セミとアリ」「オオカミと子羊」と3つの話に、3人がそれぞれ作曲した計8曲。イソップ物語のような教訓めいた童話だが、ナレーショ(近藤秀樹)で話の内容が紹介され非常に分かりやすい。これがまず成功した。

後半はオッフェンバックの世界で「美しきエレヌ」「地獄のオルフェ」「ホフマン物語」など、オペラのアリアを中心に11曲。これを相可自身が今の話として面白く語りつないだ。

カンカン踊りのサプライズも楽しめたいし、実力に頼ることなく、親しみのないフランス歌曲やアリアで、エンターテインメントに仕上げた企画、構成が素晴らしい。

プラハ交響楽団
ニューイヤー名曲コンサート
Prague Symphony Orchestra
New Year Concert

12/13(土) 19:00開演
会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

チケット価格: 1,180円(税込) / 1,380円(税込)

熊谷みち子 渡辺美和
ジョイント・リサイタル
JOINT RECITAL

12/18(土) 19:00開演
会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

チケット価格: 1,180円(税込) / 1,380円(税込)

JOHN KEN NUZZO
ジョン・ケン・ヌッツォ バレンタインコンサート
LOVE'S DELIGHT

2019.2.14(土) 19:00開演
会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

チケット価格: 1,180円(税込) / 1,380円(税込)

第23回 スーパークラシックコンサート
会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

7公演目 81,000円 / 67,000円
(1年連続して聴ける7公演を特別価格で)

アシュケナージ ピアノ・デュオ
ウラディーミール&ヴォカ・アシュケナージ
2019.5.17(金) 18:00開演
S席 10,000円 A席 8,000円 B席 6,000円
C席 4,000円 D席 2,000円 U25 3,000円
Pコード: 134-110 Lコード: 41052

ケント・ナガノ指揮
ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団
ピアノ: 辻井伸行
2019.11.2(土) 18:00開演
S席 22,000円 A席 18,000円 B席 14,000円
C席 10,000円 D席 7,000円 U25 3,000円
Pコード: 134-112 Lコード: 41054

ニューイヤー・コンサート2020
ウィーン・フォルクスオーバー交響楽団
2020.1.11(土) 13:30開演
S席 10,000円 A席 8,500円 B席 7,000円
C席 5,500円 D席 2,000円 U25 2,000円
Pコード: 134-120 Lコード: 41056

佐渡 裕(指揮) X エフゲニ・ボジャノフ(ピアノ)
兵庫芸術文化センター管弦楽団
2020.1.30(木) 19:00開演
S席 10,000円 A席 8,500円 B席 7,000円
C席 5,500円 D席 2,000円 U25 2,000円
Pコード: 134-122 Lコード: 41057

チケット販売
12/1(土) 10:00~ 発売開始!

東海テレビチケットセンター
052-308-4847
052-951-9104
tokai-tv.com
クラシック名古屋
052-678-5310

アイ・チケット
0570-00-5310
0570-02-2999 + Pコード
0570-084-004 + Lコード
0570-000-407

英文プレイガイド
052-972-0430
052-953-0777
e+ (イープラス)
052-972-0430
052-561-7755

ウィーン・リング・アンサンブル
Wiener Ring-Ensemble
New Year Concert 2019

2019.1/4(土) 19:00開演
会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

チケット価格: 1,180円(税込) / 1,380円(税込)

New Year Concert 2019
Symphonie-Orchester der Volksoper Wien
150 Years (1869-2019) Anniversary Special

2019.1.6(日) 19:00開演
会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

チケット価格: 1,180円(税込) / 1,380円(税込)

クレール=マリ・ル・ゲ
ピアノ・リサイタル
Claire-Marie Le Guay Piano Recital

2019.1.8(火) 19:00開演
会場:電気文化会館 サ・コンサートホール

チケット価格: 5,500円(税込) / 6,500円(税込)

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F



クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(10:00~17:00 ※日祝休み)
アイ・チケット web 検索

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット
販売から、ホール、座席のことまでオペレータが丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、
便利なクラシック専門のプレイガイドです。